

2018年8月8日

各 位

井関農機株式会社

## 2018年12月期 第2四半期連結業績 補足資料

(2018年1月1日～2018年6月30日)

## 1. 連結第2四半期損益

(億円、%)

	2017/12期 第2四半期 累計実績	2018/12期 第2四半期 累計実績	前年同期比増減		2018/12期 第2四半期 累計予想 ※	予想比 増減
			金額	率		
売上高	802	822	+20	+2.6	860	△38
国内	628	639	+11	+1.8	644	△5
海外	174	183	+9	+5.1	216	△33
売上総利益	237	235	△2	△0.9	240	△5
粗利率	29.6%	28.6%	△1.0%	—	27.9%	+0.7%
販管費	209	213	+4	+2.1	220	△7
営業利益	28	22	△6	△22.6	20	+2
金融収支	△3	△4	△1	—	△3	△1
他営業外	9	0	△9	—	1	△1
経常利益	34	18	△16	△45.5	18	0
特別利益	0	1	+1	—	0	+1
特別損失	△1	△1	0	—	△2	+1
税前四半期純利益	33	18	△15	△44.1	16	+2
税、税調整額他	△11	△2	+9	—	0	△2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	16	△6	△24.9	16	0

(売上内訳)

(億円)

	2017/12期 第2四半期 累計実績	2018/12期 第2四半期 累計実績	前年同期比 増減	2018/12期 第2四半期 累計予想 ※	予想比 増減
作業機	113	118	+5	115	+3
補修用部品	68	68	0	70	△2
修理収入	25	26	+1	26	0
農機関連計	487	495	+8	502	△7
施設工事	33	33	0	32	+1
その他	108	111	+3	110	+1
国内計	628	639	+11	644	△5
北米	35	56	+21	69	△13
欧州	56	60	+4	74	△14
中国	26	9	△17	8	+1
アセアン	18	20	+2	30	△10
その他	17	11	△6	13	△2
製品計	152	156	+4	194	△38
補修用部品	12	13	+1	11	+2
その他	10	14	+4	11	+3
海外計	174	183	+9	216	△33
売上高計	802	822	+20	860	△38

※第2四半期累計予想：2018年2月13日公表予想

## 1) 前年同期比

### (1) 売上高：822億円（前年同期比+20億円、+2.6%）

- ・ 国内売上高 639億円（前年同期比+11億円、+1.8%）

新商品を投入した田植機の増加に加え、作業機が好調に推移したことから、農機関連全体で+8億円。農業用資材などその他で+3億円。

- ・ 海外売上高 183億円（前年同期比+9億円、+5.1%）

北米は、前年同期の取引条件一部変更影響が一巡し、+21億円。

欧州は、新商品の投入効果により+4億円。

中国は、現地在庫調整に伴う田植機半製品の出荷減等により、△17億円。

アセアンは、タイ向け出荷減があったものの、インドネシア向けトラクタの出荷増等により、+2億円。

### (2) 収益：施設不採算工事による一時的要因のほか、開発費用や人件費等の増加により前年同期比悪化。

- ・ 営業利益 22億円（前年同期比△6億円）

- ・ 経常利益 18億円（前年同期比△16億円）

- ・ 四半期純利益 16億円（前年同期比△6億円）

営業利益は、施設不採算工事や子会社合併に伴う退職給付計算原則適用による一時的負担のほか、排ガス規制対応商品等の開発費用や人件費等の増加により、△6億円。

経常利益は、為替差損益や持分法投資損益の悪化のほか、前年同期にあった補助金収入（営業外収益）がなくなったこと等により△16億円。

四半期純利益は、2018年度よりの連結納税制度適用に伴う税金費用の減少により、△6億円。

## 2) 予想比

### (1) 売上高：予想比△38億円（国内△5億円、海外△33億円）

- ・ 国内売上高は、新商品を投入した田植機が増加した一方で、トラクタ、コンバインの遅れにより農機製品は△8億円。作業機は+3億円。国内全体で△5億円。

- ・ 海外売上高は、北米は受注に基づくOEM先現地委託在庫が一部今期の売上に結びつかず、△13億円。

欧州は、フランス子会社の不需要期販売が後ろ寄せとなったこと等により、△14億円。

アセアンは、タイ販売代理店の在庫調整によるトラクタ出荷減等により、△10億円。

海外全体で△33億円。

### (2) 収益：

- ・ 営業利益 予想比+2億円

- ・ 経常利益 予想比 0億円

- ・ 四半期純利益 予想比 0億円

営業利益は、売上未達による粗利益減少があったものの、インドネシア事業の収益改善先行や販管費等の経費の削減により、+2億円。

経常利益、四半期純利益は、持分法投資損益の悪化等により、ほぼ予想通り。

## 2. 2018年12月期 通期業績予想

- ・ 2018年2月13日に公表いたしました2018年12月期通期連結業績予想を以下の通り修正いたしました。

### 【2018年12月期通期連結業績予想】

(2018年1月1日～2018年12月31日)

(億円)

	2017/12期 実績	前回 業績予想	今回 業績予想	前期比 増減	前回予想 比増減
売上高	1,584	1,645	1,580	△4	△65
国内	1,231	1,262	1,252	+21	△10
海外	353	383	328	△25	△55
営業利益	40	45	45	+5	0
経常利益	42	43	43	+1	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	32	32	+4	0

(修正の理由)

第2四半期連結累計期間の実績値および足許の受注状況等を踏まえ、前回予想から売上高について△65億円修正をするものであります。なお、売上高減少に伴う粗利益の減少はあるものの、引続き経費の削減が見込まれることから、営業利益以下の予想につきましては変更しておりません。

- ・ 国内売上高は、施設工事の受注状況等を踏まえ、前回予想から△10億円修正。
- ・ 海外売上高は、北米、アセアン、中国での在庫調整等による受注減を織込み、前回予想比△55億円修正。

\* 下期想定為替レート：対米ドル110円（継続）  
対ユーロ130円（継続）

以上

#### \*業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。